

教科名	理科
科目名	化学
グレード	
単位時間	2単位時間
対象学年	中学3年

科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験等の体験を通し、科学への興味・関心を喚起する。・些細な事象にも疑問を抱き、進んでその解決をはかろうとする自主性を身につけさせる。・実験や経験などを通して身のまわりに比べて細かい世界、あるいは巨大な世界に目を向ける。・疑問の解決に際し、科学的・論理的思考力を身につける。・数学的手法を用いて理科の応用力をつけさせる。</li> </ul>
使用教科書	東京書籍 探究する 新しい科学2・3
使用副教材	教育開発出版 中学の理科第1分野 東京書籍 レッツライノート化学基礎2 物質と化学反応式
評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年4回の定期考査,</li> <li>2. 実験へ態度および実験レポートなどの提出物</li> <li>3. 出席状況, 学習態度</li> </ol>
学習の方法	<p>授業用ノートのほか、実験プリントや授業プリントをとじておくファイルを準備して下さい。教室授業は、実験や観察の授業に対応して、教科書の内容に基づいて実施されます。先生の話をよく聞いてノートにまとめましょう。実験や観察の時のわかりにくかったことなども、どんどん質問して下さい。</p> <p>授業の予習は、教科書を読み、次の授業がどんな内容か考えてみて下さい。実験や観察授業の場合は、ノートに内容の準備や方法についてまとめ、やはり次の授業がどんな内容か考えましょう。授業の復習は、教科書を読み返し、ノートの不足分を書き足します。</p>
生徒への一言	<p>中学のまとめと<b>高校課程への導入</b>を学びます。毎日の十分な家庭学習を習慣にしておかなければなりません。普段の授業、実験観察はしっかり受講し、自分の実験ノートやプリントの内容を充実させましょう。問題集の演習で内容を確認しよう。</p>

月	授 業 予 定
4月	化学変化と原子・分子 質量保存の法則, 定比例の法則, 分解と化合
5月	化学変化と原子・分子, 真空放電と陰極線 酸化と還元, 化学反応式, 電流
5月下旬 前期中間考査	
6月	化学変化とイオン 原子の構造とイオン, 電解質と非電解質, 電気分解とイオン, 電池とイオン
7月	化学変化とイオン 酸・アルカリとイオン
8・9月	化学変化とイオン イオンの移動
9月下旬 前期期末考査	
10月	化学変化とイオン 中和とイオン
11月	原子の構造・原子番号, 電子配置, 組成式
11月下旬 後期中間考査	
12月	原子量, 物質質量
1月	気体分子1molの体積, 反応式と係数,
2月	反応式と量的関係
2月下旬 後期期末考査	
3月	化学の基本法則